



安積山

郡山市立日和田小学校

学校便り No.68

令和4年1月27日

文責：校長 伊藤 孝行

郡山市もまん延防止等重点措置の対象地域に！

月 日	全国感染者	福島県感染者
1月 1日	534 人	3 人
1月 8日	8,471 人	33 人
1月15日	25,733 人	51 人
1月22日	54,559 人	119 人
1月26日	71,644 人	352 人

上の表をご覧くださいと、全国でも福島県でも、1月1日の感染者数と昨日の感染者数を比較すると、どちらも100倍以上と急激に増加していることがお分かりいただけると思います。

感染者数の急増を受け、本日より、福島県まん

が要不急の外出等と、今まで行ってきたことですが、再度、一人一人が意識を新たに取り組んで感染予防に努めましょう。

まん延防止等重点措置期間中の教育活動

昨年の5月にも同様の対応を取りましたが、この期間中の教育活動では、感染の恐れが高い以下の活動は行うことができません。



- ① 家庭科における調理実習など児童が近距離で活動する学習。
- ② 音楽における室内で児童同士が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカの演奏。
- ③ 体育における児童が密集する運動や近距離で組み合わせ運動。
- ④ 児童同士が近距離で大きな声で活動する学習。
- ⑤ 全校児童生徒が一堂に会して実施する学校行事等の実施にあたっては、可能な限り、分散実施やリモートによる実施とする。また、内容を精選し時間を短縮する。

これらの活動は、子どもたちが楽しみにしている活動でありますので、できる限り中止ではなく延期として、感染拡大が収まった段階で実施していきたいと考えております。

不織布マスク着用についてのお願いです。

本日配付しましたプリント「まん延防止等重点措置」の適用による対応の中にありますように、今回新たに以下の項目が追加されました。

【新たな追加項目】

- ◎ 児童生徒及び教職員は、運動時や昼食時を除き、登下校の際もマスク着用を徹底する。
(不織布マスクの正しい着用)
- ◎ 家庭内においてもマスクの着用や換気などの対策を行うよう、保護者に協力を依頼する。

	マスクなし	不織布マスク	布マスク	ウレタンマスク
対策方法				
吐き出し飛沫量	0% カット	80% カット	66~82% カット	50% カット
吸い込み飛沫量	0% カット	70% カット	35~45% カット	30~40% カット

ウレタンや布マスクよりも **不織布** でできたマスクの方が飛沫を防ぐ効果が高い傾向があることがわかります。

今回初めて、飛沫抑制効果がより高い「不織布マスク」の正しい着用という項目が設けられました。子どもたちにもできる限り不織布マスクの着用をお願いいたします。尚、各種事情で不織布マスクがつけられない場合は、担任までお知らせください。無理をさせるようなことはありません。

感染予防のため協力をお願いいたします。

- ① 登校前の健康観察と体温測定をお願いします。
- ② 同居の家族がPCR検査を受けた場合は結果が出るまで、登校を控えてください。
- ③ 同居する家族に発熱等の症状がみられる場合も登校を控えてください。
- ④ 体調の悪い場合は無理せず休ませてください。